

●基本情報

事業名(取組名)	一般介護予防事業 (ボランティア組織活動支援事業)			評価番号	2-2-5-1	
担当課	保健福祉センター	係	いきがい支援係	<input type="checkbox"/> 予算なし		
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり			会計	【08】介護保険特別会計
	基本施策	【2】支え合う福祉の推進			款	【0803】地域支援事業費
	施策	【5】地域福祉の充実			項	【080303】一般介護予防事業費
	主な取組	①福祉を支える人材の育成			目	【08030301】一般介護予防事業費
			事業	一般介護予防事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	名称	介護保険法		
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 14 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 ( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
実施形態	<input type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業概要	地域で介護予防のための体操を普及するボランティアの活動を支援している。 フリフリグッパ体操を普及する利根フリフリクラブボランティアとシルバーリハビリ体操を普及する利根町リハビリ体操指導士の会の活動を支援し、介護予防の取組を推進している。(補助率: 国20.0%, 県12.5%, 町12.5%, 支払基金27%, 他1号保険料23.0%)				

●実施 ~D0~

事業業績	フリフリ地区運動集会、シルバーリハビリ体操教室を開催し、地域住民が気軽に参加できる体制ができており、介護予防・認知症予防に貢献した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防体制をとりながら実施した。 ○フリフリ地区運動集会は、毎月6回(年間62回)実施し、延べ1,578人が参加した。 ○シルバーリハビリ体操教室は、16会場で年間708回実施し、延べ16,314人が参加した。				
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	1 報酬	450,061 円	558,454 円	566,723 円
		3 職員手当等	18,939 円	64,080 円	63,493 円
		4 共済費	47,213 円	103,630 円	105,587 円
		7 報償費	525,000 円	408,000 円	798,000 円
		11 役務費	20,266 円	31,480 円	31,252 円
		その他	27,451 円	32,733 円	40,571 円
事業費計	1,088,930 円	1,198,377 円	1,605,626 円		
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	国支出金	217,786 円	239,675 円	321,125 円
		県支出金	136,116 円	149,797 円	200,703 円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	430,127 円	473,358 円	634,222 円
		一般財源	304,901 円	335,547 円	449,576 円
事業費計	1,088,930 円	1,198,377 円	1,605,626 円		

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 多数の会場で気軽に参加できる体制を整えることで、多くの高齢者が参加しており、事業目的である介護予防・認知症予防に貢献している。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 町は、ボランティア組織の事務局として役割を果たしている。引き続き、ボランティア組織を適切に支援し活動を継続することが重要であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 活動を支えるボランティアの人数が増えることにより、活動が拡大され介護予防の効果が上がることが期待できる。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 高齢化が進む中、ボランティアを中心とした介護予防活動は、事業目的を達成するために重要であることから、事業の廃止・休止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある ボランティア主体の事業であり、現在も低コストで実施しているため、これ以上のコスト削減の余地はない。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続 ( <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 ) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 この活動を継続的に行うためには、活動の中心となるボランティアの存在が欠かせない。しかし、近年ではボランティア活動を希望する人が減少しているため、人材の確保が課題であると考えられる。

●基本情報

事業名(取組名)		在宅福祉サービス運営事業		評価番号	2-2-5-1	
担当課		福祉課	係	社会福祉係	<input type="checkbox"/> 予算なし	
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【2】支え合う福祉の推進			款	【0103】民生費
	施策	【5】地域福祉の充実			項	【010301】社会福祉費
	主な取組	①福祉を支える人材の育成			目	【01030101】社会福祉総務費
			事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり(事業終了年度: 令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 ( <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事業概要	町内の高齢者や障害者及び子育て世帯等が住み慣れた地域で安心して生活できよう、ボランティアによる家事援助、送迎サービス等を提供し、本人や家族の日常生活における負担軽減を図ります。		

●実施 ~DO~

事業業績	町で補いきれない地域に密着した支援を行うため、社会福祉協議会に在宅福祉サービスを委託し、登録ボランティアにより、日常生活上援助の必要がある高齢者や障害者及び子育て世帯に対し、家事援助や送迎サービスを提供し支援を行なうことができました。 【令和4年度利用実績】 ・送迎(706件) ・家事援助(181件) ・保育(0件)				
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	12 委託料	694,489 円	619,531 円	1,141,591 円
			円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
	事業費 計	694,489 円	619,531 円	1,141,591 円	
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	694,489 円	619,531 円	1,141,591 円
	事業費 計	694,489 円	619,531 円	1,141,591 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 高齢者や障害者、子育て世帯の日常生活の負担軽減を図り、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう貢献しました。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 町で補うことができない地域福祉サービスを社会福祉協議会に委託していることから、事業主体は町であることが妥当と考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 理由 利用者のニーズに応えるため、登録ボランティアの確保と育成が必要となっています。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 必要とする利用者が多く、廃止・休止は考えておりません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input type="radio"/> 類似事業はない 理由 利用者に対し、きめ細やかなサービス提供を行うため統廃合は考えておりません。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 在宅サービスの必要な経費を計上しているため、削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由 利用者から利用料を徴収しております。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 ( <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	<b>【理由】</b> 今後も町が補いきれない地域に密着した福祉サービス事業を社会福祉協議会に委託し、利用者のニーズに対応できる支援側のボランティア育成と確保を支援するとともに、きめ細やかなサービス内容の向上にも努めてまいります。

●基本情報

事業名(取組名)	一般介護予防事業(住民交流通いの場事業)			評価番号	2-2-5-2
担当課	福祉課	係	介護予防係	<input type="checkbox"/> 予算なし	
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり		会計	【08】介護保険特別会計
	基本施策	【2】支え合う福祉の推進		款	【0803】地域支援事業費
	施策	【5】地域福祉の充実		項	【080303】一般介護予防事業費
	主な取組	②社会福祉関係団体の育成		目	【08030301】一般介護予防事業費
		事業	一般介護予防事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	名称	介護保険法		
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 29 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり(事業終了年度:令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他( )				
実施形態	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乗せ) <input type="checkbox"/> その他( )				
事業概要	地域の住民主体の通いの場において、茶話、体操、レクリエーション及び認知症予防等の介護予防活動を行います。通いの場に適した団体に対して補助金を出し活動を支援します。				

●実施 ~D0~

事業業績	高齢者が身近なところで気軽に通える場が創出され、高齢者の社会的な孤立の解消、心身の健康維持及び要介護状態の予防並びに地域での助け合い体制の構築が図られています。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、休止する期間もありました。 実施団体 10団体 7,678人参加				
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	18 負担金、補助及び交付金	607,000 円	551,500 円	1,312,500 円
			円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
	事業費計	607,000 円	551,500 円	1,312,500 円	
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	国支出金	121,400 円	110,300 円	262,500 円
		県支出金	75,875 円	68,937 円	164,062 円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	239,765 円	217,842 円	518,437 円
		一般財源	169,960 円	154,421 円	367,501 円
	事業費計	607,000 円	551,500 円	1,312,500 円	

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、休止する団体もありましたが、実施団体は10団体となり、その活動が地域に広がりを見せています。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 町が実施団体を支援し、住民が身近な地域において通える介護予防の場を適正に広げていく必要があります。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 高齢化が急速に進んでいることから、地域における介護予防活動により介護給付費の抑制を図ります。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 高齢化が急速に進むことにより、実施する高齢者と参加する高齢者共に介護予防効果があります。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 地域に住民交流通いの場を広げて行く段階にあることから、現状を維持する必要があります。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 住民による運営団体が主体的に活動することを支援するため、事業の趣旨に沿った運営がなされているかモニタリングを行っています。

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続 ( <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 ) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 高齢化により要介護支援認定者数は増加しており、身近な地域で実施される介護予防活動は必要不可欠であることから、住民交流通いの場の運営団体を今以上に増やしていく必要があります。対象の団体が急速に増える場合は、補助金の内容等の見直しを行う必要があります。